

申告書の記入例

前年中に収入があった人

▼申告書 表面

令和8年 3月 15日

令和8年度 市民税・県民税申告書

(宛先) 春日市長

令和8年 1月1日の住所	春日市原町3丁目1番地5		番号確認	<input type="checkbox"/>	本人確認	<input type="checkbox"/>	確認資料	免・減・マ・手・他	<input type="checkbox"/>								
現住所	同上		整理番号	2													
フリガナ	4	カスガ タロウ	電話番号	(092) 584 - 1111													
氏名	春日 太郎		世帯主名	春日 太郎(続柄 本人)													
生年月日	3	大・昭 平・令	36年 4月 1日	個人番号	38	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2

◆簡易申告◆

★下記に該当する人は☑チェックをつけてください。
(☑は複数可)
※チェック項目以外の申告がない場合はチェックをつけて申告終了です。
A. ☐ 前年中は収入がなかった。または非課税所得で生活していた。
(遺族年金・障害年金・その他)
受給額 円
B. ☐ 収入や控除は添付している証明書類(控除証明書、源泉徴収票、
障害者手帳等)のとおり申告します。
※証明書類には原本添付が必要な場合があります。「申告書の記入例」を参照してください。
※扶養親族について、証明書類と異なる内容を申告する際は、該当欄にご記入ください。

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

33	合計額	32	1	7	8	6	0	0
34	社会保険料控除	13,000	35	介護保険料控除	15,600	36	国民健康保険料控除	150,000
37	合計額	159	38	小規模企業共済等掛金控除	39	確定拠出年金掛金控除	40	その他
41	生命保険料控除	157	42	新生命保険料支払額	158	旧生命保険料支払額	43	合計額
44	地震保険料控除	164	45	地震保険料支払額	165	地震保険料控除	46	合計額
47	寡婦・ひとり親控除	47	48	寡婦・ひとり親控除	49	寡婦・ひとり親控除	50	合計額
51	配偶者(特別)控除	51	52	配偶者(特別)控除	53	配偶者(特別)控除	54	合計額
55	扶養控除	55	56	扶養控除	57	扶養控除	58	合計額
59	特定親族特別控除	59	60	特定親族特別控除	61	特定親族特別控除	62	合計額
63	基礎控除	63	64	基礎控除	65	基礎控除	66	合計額
67	合計	67	68	合計	69	合計	70	合計

1	収入金額	44	ア	3	5	8	9	0	0	3
2	所得金額	45	イ	4	5	0	0	0	0	0
3	所得金額	46	ウ	8	1	4	3	5	1	
4	所得金額	47	エ							
5	所得金額	48	オ							
6	所得金額	49	カ							
7	所得金額	50	キ							
8	所得金額	51	ク							
9	所得金額	52	コ							
10	所得金額	53	サ							
11	所得金額	54	シ							
12	所得金額	55	ス							
13	所得金額	56	セ							
14	所得金額	57	ソ							
15	所得金額	58	タ							
16	所得金額	59	チ							
17	所得金額	60	ツ							
18	所得金額	61	テ							
19	所得金額	62	ト							
20	所得金額	63	ナ							
21	所得金額	64	ニ							
22	所得金額	65	ノ							
23	所得金額	66	ハ							
24	所得金額	67	ヘ							
25	所得金額	68	ニ							
26	所得金額	69	ホ							
27	所得金額	70	ヘ							
28	所得金額	71	ニ							
29	所得金額	72	ホ							
30	所得金額	73	ヘ							
31	所得金額	74	ニ							
32	所得金額	75	ホ							
33	所得金額	76	ヘ							
34	所得金額	77	ニ							
35	所得金額	78	ホ							
36	所得金額	79	ヘ							
37	所得金額	80	ニ							
38	所得金額	81	ホ							
39	所得金額	82	ヘ							
40	所得金額	83	ニ							
41	所得金額	84	ホ							
42	所得金額	85	ヘ							
43	所得金額	86	ニ							
44	所得金額	87	ホ							
45	所得金額	88	ヘ							
46	所得金額	89	ニ							
47	所得金額	90	ホ							
48	所得金額	91	ヘ							
49	所得金額	92	ニ							
50	所得金額	93	ホ							
51	所得金額	94	ヘ							
52	所得金額	95	ニ							
53	所得金額	96	ホ							
54	所得金額	97	ヘ							
55	所得金額	98	ニ							
56	所得金額	99	ホ							
57	所得金額	100	ヘ							

P2参照

P2参照

P3参照

簡易申告を活用しましょう！(収入がない人、証明書類が揃っている人などが対象です)

◆簡易申告◆

★下記に該当する人は☑チェックをつけてください。
(☑は複数可)
※チェック項目以外の申告がない場合はチェックをつけて申告終了です。
A. ☐ 前年中は収入がなかった。または非課税所得で生活していた。
(遺族年金・障害年金・その他)
受給額 円
B. ☐ 収入や控除は添付している証明書類(控除証明書、源泉徴収票、
障害者手帳等)のとおり申告します。
※証明書類には原本添付が必要な場合があります。「申告書の記入例」を参照してください。
※扶養親族について、証明書類と異なる内容を申告する際は、該当欄にご記入ください。

収入がない人、遺族年金等で生活していた人は A にチェック

添付資料と同じ内容を申告する場合には B にチェック
※チェックにより、申告書の記入を省略できます。
※申告書に記載されている内容と簡易申告内容が異なる場合は、申告書に記載されている内容を優先します。

申告書の各項目の説明及び申告書の書き方

●収入・所得金額…前年中に得た収入等について該当する項目に記入してください

ア及び①またはイ及び② 事業 卸売業、小売業、サービス業等の営業や、大工、保険の外交員、農作物の生産、畜産等	「1 収入金額等」及び「2 所得金額」に金額を記入してください。 申告書裏面の「12 事業（営業等・農業）・不動産に関する事項」の欄に内訳を記入してください。
ウ及び③ 不動産 貸家、貸アパート等	
エ 利子 国外の銀行等の預金の利子など	一般的に利子所得は源泉分離課税なので、申告は不要です。 ただし、国外の銀行等の預金の利子等、源泉徴収されないものは申告が必要です。
オ及び⑤ 配当 株式、出資金の配当、投資信託の 収益の分配など	収入をオに、収入から必要経費（株式等の元本取得のために要した負債の利子）を差し引いた金額を⑤に記入し、申告書裏面の「7 配当所得に関する事項」の欄に内訳を記入してください。 ※特定配当等の所得については、配当金受取時に住民税分（5%）が徴収されておりますので、原則申告は不要です。しかし、この所得について申告する場合は、所得税の確定申告書を管轄税務署に提出してください。 〈注意〉 上場株式等に係る配当所得について申告した場合、この所得についても個人住民税の「総所得金額等」や「合計所得金額」に算入されます。そのため、扶養控除や配偶者控除の適用、市民税・県民税の非課税判定、各種保険料等（国民健康保険料や介護保険料等）の算定などに影響が出る場合があります。 また、一度申告したものについては、取り下げることができません。
カ 給与 給与、賃金、賞与	源泉徴収票の支払金額をカに記入してください。 ◇源泉徴収票を添付してください。※源泉徴収票が複数ある場合は合計額を記入してください。 源泉徴収票がない場合は、給与明細書を参照し申告書裏面の「6 給与所得の内訳」及び「勤務先」欄に記入してください。 専従者給与がある人は、カの「うち専従者給与」の欄に収入金額を記入し、専従者給与支払者名等を申告書裏面の「6 給与所得の内訳」中の「勤務先」欄に記入してください。
キ 雑所得（公的年金等） 国民年金、厚生年金、企業年金など	源泉徴収票の支払金額をキに記入してください。 ◇源泉徴収票を添付してください。※源泉徴収票が複数ある場合は合計額を記入してください。
ク及び⑧ 雑所得（業務） 原稿料、講演料など	原稿料、講演料又はネットオークションなどを利用した個人取引若しくは食料品の配達などによる売上金の収入金額をクに記入してください。 ◇支払証明書等を添付してください。 収入から必要経費を差し引いた所得金額を⑧に記入してください。 申告書裏面の「8 雑所得（公的年金等以外）に関する事項」の欄に内訳を記入してください。
ケ及び⑨ 雑所得（その他） 個人年金など	生命保険の年金（個人年金保険）、互助年金、暗号資産取引などの収入金額をケに記入してください。 ◇支払証明書等を添付してください。 収入から必要経費を差し引いた所得金額を⑨に記入してください。 申告書裏面の「8 雑所得（公的年金等以外）に関する事項」の欄に内訳を記入してください。
コ及び⑪またはサ及び⑪ 総合譲渡 骨董品、車両等 シ及び⑪ 一時 生命保険契約に基づく一時金など	申告書裏面の「9 総合譲渡・一時所得の所得金額に関する事項」の欄に内訳を記入し、所得金額イの金額を申告書表面のロに、所得金額ロの金額を申告書表面のサに、所得金額ハの金額を申告書表面のシに、ニの金額を申告書表面の⑪に記入してください。 ※特別控除額は、譲渡所得が短期と長期を合わせて原則 50 万円（短期譲渡所得から優先的に控除）、一時所得が原則 50 万円です。 ◇支払証明書等を添付してください。

●所得控除…要件を満たす場合、「3 所得から差し引かれる金額に関する事項」欄の該当する項目に記入してください

⑬社会保険料控除…あなたや生計を一にする親族等の国民健康保険税、国民年金保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料等をあなたが支払った場合

「⑬社会保険料控除」の欄に内訳及び合計額を記入してください。
◇支払った証明書又は領収書（写し）を添付してください。
※証明等の添付がない場合は控除の適用ができません。
（源泉徴収票に記載されているものは控除適用）

申告書の書き方（例）

⑬	合計額	152	1	7	8	6	0	0
社会保険料控除	国民健康保険税	13,000 円	介護保険料	15,600 円	後期高齢者医療保険料	150,000 円		
	国民年金		源泉徴収額		その他			

⑭小規模企業共済等掛金控除…確定拠出年金法による個人型年金加入者掛金等をあなたが支払った場合

「⑭小規模企業共済等掛金控除」の欄に内訳及び合計額を記入してください。
◇支払った証明書又は領収書（写し）を添付してください。※証明書等の添付がない場合は控除の適用ができません。

⑮生命保険料控除…あなたや親族等の生命保険や個人年金等をあなたが支払った場合

「⑮生命保険料控除」の該当する項目に支払額を記入してください。
◇保険会社が発行した証明書を添付してください。
※証明書の添付がない場合は控除の適用ができません。

申告書の書き方（例）

⑮	新生命保険料支払額	157	1	2	2	3	2	1
生命保険料控除	旧生命保険料支払額	161						
	新個人年金保険料支払額	158		3	6	0	0	0
	旧個人年金保険料支払額	162						
	介護医療保険料支払額	156		4	2	3	5	0

⑯地震保険料控除…地震保険料、旧長期損害保険料（平成 18 年 12 月 31 日までに契約したもの）をあなたが支払った場合

「⑯地震保険料控除」の該当する項目に支払額を記入してください。
◇保険会社が発行した証明書を添付してください。※証明書の添付がない場合は控除の適用ができません。

⑰～⑱寡婦、ひとり親控除…寡婦、ひとり親である場合

「⑰～⑱寡婦、ひとり親控除」の欄にひとり親の人は右の欄（ひ）に、寡婦の人は左の欄（寡）に○を記入し、該当する理由にチェックしてください。
※離婚や扶養の状況等については、前年の 12 月 31 日の現況によって判断します。（年の中途で死亡した場合は、死亡の日）
●婚姻歴や性別に関わらず、生計を一にする子（総所得金額等が 58 万円以下）を有する単身者（合計所得金額 500 万円以下に限る）について、「ひとり親控除」（控除額 30 万円）を適用
●上記以外の単身者（合計所得金額 500 万円以下に限る）で、夫と死別した後婚姻をしていない人又は生死不明などの人について「寡婦控除」（控除額 26 万円）を適用
●夫と離別した後婚姻をしていない人で、扶養親族（合計所得金額が 58 万円以下）を有する人について「寡婦控除」（控除額 26 万円）を適用
●住民票の続柄に「夫（未届）」、「妻（未届）」と記載がある人は対象外

申告書の書き方（例）

⑰～⑱	寡婦、ひとり親控除	寡	<input checked="" type="checkbox"/> 死別	<input type="checkbox"/> 生死不明	ひ
			<input type="checkbox"/> 離婚	<input type="checkbox"/> 未帰還	

⑲勤労学生控除…前年の合計所得が 85 万円以下で、かつ自己の勤労に基づかない所得が 10 万円以下の勤労学生（前年の 12 月 31 日時点）である場合

「⑲勤労学生控除」の欄に学校名・学年を記入してください。
◇学生証又は在学証明書の写しを添付してください。

申告書の書き方（例）

⑲	勤労学生控除	学校名・学年	〇〇大学 1 年
---	--------	--------	----------

※本人以外の障害者控除は、配偶者控除・扶養控除等の欄に記入してください。

② 配偶者（特別）控除 同一生計配偶者		配偶者の 合計所得金額	173 <div> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> </div>
氏名 春日 花子		生年 月日	S36・1・11 <div> <input checked="" type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居 身・精・療 </div>
同配 <input type="checkbox"/> 個人番号	392	987654321098	

② 配偶者（特別）控除 同一生計配偶者		配偶者の 合計所得金額	173	<input type="text" value="6"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>	
氏名 春日 花子		生年月日	S36 ' 1 ' 11	<input checked="" type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	身・精・療 別居
同配 <input type="checkbox"/> 個人 番号	392	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8			

[illegible]

2 扶養控除 特定親族特別控除	1	氏名	春日 あすか										生年日	H16・3・1			続柄	子		<input checked="" type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	身・精・療	額
	個人番号	410	4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5										生年日				続柄			<input type="checkbox"/> 特親(合計所得金額)	額	
	2	氏名											生年日				続柄			<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	身・精・療	額
	個人番号	428											生年日				続柄			<input type="checkbox"/> 特親(合計所得金額)	額	
	3	氏名											生年日				続柄			<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	身・精・療	額
	個人番号	446											生年日				続柄			<input type="checkbox"/> 特親(合計所得金額)	額	
	4	氏名											生年日				続柄			<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	身・精・療	額
	個人番号	464											生年日				続柄			<input type="checkbox"/> 特親(合計所得金額)	額	

2	氏名	春日 あすか		生年 月日	H16・3・1		続柄	子	<input checked="" type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	身・精・療 費	
	個人 番号	410	4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5							<input type="checkbox"/> 特異 (合計所得金額) 600,000	円
	氏名			生年 月日			続柄		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	身・精・療 費	
	個人 番号	428								<input type="checkbox"/> 特異 (合計所得金額)	円
3	氏名			生年 月日			続柄		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	身・精・療 費	
	個人 番号	446								<input type="checkbox"/> 特異 (合計所得金額)	円
4	氏名			生年 月日			続柄		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	身・精・療 費	
	個人 番号	464								<input type="checkbox"/> 特異 (合計所得金額)	円

26 医 療 費 控 除	支払った医療費等	150	□	3	4	0	0	0	0
	保険などで補填 される金額	151	□	2	1	0	0	0	0

– 3 –

市民税・県民税の算出方法

給与・年金の所得 (速算表で算出)	所得控除	課税所得金額	税率 市民税 6% 県民税 4%	税額 税控除	市民税 所得割 市民税均等割 3,000円	県民税 所得割 県民税均等割 1,500円	年税額
事業等の収入－必要経費							

※分離課税所得がある場合は
計算方法・税率等が異なります。
詳しくは市民税担当までお
問い合わせください。

(1,000円未満切捨) (調整控除を含む) (100円未満切捨)
※市民税、県民税均等割が課税される方は、森林環境税(国税)1,000円があわせて課税されます。

給与・公的年金の所得計算表

○給与収入

収入金額A	給与所得金額
～1,899,999円	A－650,000円
1,900,000円～3,599,999円	(A÷4)×2.8－80,000円
3,600,000円～6,599,999円	(A÷4)×3.2－440,000円
6,600,000円～8,499,999円	A×0.9－1,100,000円
8,500,000円～	A－1,950,000円

※(A÷4)は千円未満切捨て ※計算結果がマイナスの場合は0円となります

○公的年金等

年金受給者の 年齢	公的年金等収入金額(A)	公的年金等雑所得の金額		
		公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額		
		1,000万円以下の場合	1,000万円を超え 2,000万円以下の場合	2,000万円を超える場合
65歳以上	330万円以下	A－1,100,000円	A－1,000,000円	A－900,000円
	330万円超410万円以下	A×0.75－275,000円	A×0.75－175,000円	A×0.75－75,000円
	410万円超770万円以下	A×0.85－685,000円	A×0.85－585,000円	A×0.85－485,000円
	770万円超1,000万円以下	A×0.95－1,455,000円	A×0.95－1,355,000円	A×0.95－1,255,000円
	1,000万円超	A－1,955,000円	A－1,855,000円	A－1,755,000円
65歳未満	130万円以下	A－600,000円	A－500,000円	A－400,000円
	130万円超410万円以下	A×0.75－275,000円	A×0.75－175,000円	A×0.75－75,000円
	410万円超770万円以下	A×0.85－685,000円	A×0.85－585,000円	A×0.85－485,000円
	770万円超1,000万円以下	A×0.95－1,455,000円	A×0.95－1,355,000円	A×0.95－1,255,000円
	1,000万円超	A－1,955,000円	A－1,855,000円	A－1,755,000円

所得控除額一覧

区分	控除額
雑損控除	次のいずれか多い金額 ①(損失額－保険等による補てん金額)－(総所得金額等×10%) ②災害関連支出の金額－5万円
医療費控除	(支払った医療費－保険等による補てん金額)－(総所得金額等×5%と10万円のいずれか少ない方の金額) ※控除の限度額200万円 【セルフメディケーション税制】 (特定の医薬品の購入費用－保険等の補てん額)－12,000円 ※控除の限度額88,000円
社会保険料控除	支払金額
小規模企業共済等掛金控除	
区分	控除額(住民税)
基礎控除	合計所得金額
	2,400万円以下 43万円
	2,400万円超 2,450万円以下 29万円
	2,450万円超 2,500万円以下 15万円
	2,500万円超 0円(適用なし)
障害者控除	特別(身体障害者1・2級、精神1級、療育A) 30万円
	その他(上記以外の障害者手帳) 26万円
	同居特別障害者 53万円
寡婦控除 26万円	
ひとり親控除 30万円	
勤労学生控除 26万円	
扶養控除	一般 昭和31年1月2日～平成15年1月1日生 平成19年1月2日～平成22年1月1日生 33万円
	特定 平成15年1月2日～平成19年1月1日生 45万円
	老人 昭和31年1月1日以前生まれ 38万円
	同居老親等 45万円

区分	保険料の支払金額	地震保険料控除額
地震	～50,000円	支払金額×1/2
	50,001円～	一律25,000円
旧長期	～5,000円	支払金額の全額
	5,001円～15,000円	支払金額×1/2+2,500円
	15,001円～	一律10,000円
地震と旧長期の両方の保険料の支払いがある場合は、それぞれ上記で計算した控除の合計額 ※控除の限度額25,000円		
●旧契約●	種類	一般生命保険料・個人年金保険料
	限度額	それぞれ35,000円を上限とし、控除限度額は70,000円
●新契約●	種類	一般生命保険料・個人年金保険料・介護医療保険料
	限度額	それぞれ28,000円を上限とし、控除限度額は70,000円
●旧契約●	控除額計算表	保険料の支払金額 生命保険料控除額 ～15,000円 支払金額の全額 15,001円～40,000円 支払金額×1/2+7,500円 40,001円～70,000円 支払金額×1/4+17,500円 70,001円～ 一律35,000円
	控除額計算表	保険料の支払金額 生命保険料控除額 ～12,000円 支払金額の全額 12,001円～32,000円 支払金額×1/2+6,000円 32,001円～56,000円 支払金額×1/4+14,000円 56,001円～ 一律28,000円

●旧契約…平成23年12月31日以前に締結した保険契約等

●新契約…平成24年1月1日以降に締結や更新した保険契約等

※一般生命保険料と個人年金保険料、介護医療保険料の複数の保険料がある場合

一般生命保険料に
ついて求めた控除額
(限度額：旧契約のみ
35,000円、新契約のみ
及び新旧契約が混在した
場合28,000円)

個人年金保険料に
ついて求めた控除額
(限度額：旧契約のみ
35,000円、新契約のみ
及び新旧契約が混在した
場合28,000円)

介護医療保険料に
ついて求めた控除額
(限度額 28,000円)

生命保険料控除額

※なお、旧契約のみで算出した控除額が新旧契約で算出した
控除額を上回る場合は、旧契約のみの控除額を適用します。 限度額 70,000円

申告書の提出方法

1. 郵送で提出する場合

申告書に必要事項を記入し、源泉徴収票や控除証明書などの必要書類を申告書に添付し提出する。
※申告の控えが必要な場合は、住所・氏名を記入し、切手を貼った返信用封筒を同封してください。

※申告者本人のマイナンバーカード(個人番号カード)の写し(両面)を同封してください。

2. 市役所に直接提出する場合

源泉徴収票や控除証明書などの必要書類を持って、こ来庁ください。

【持ってくるもの】

・収入、控除に係る源泉徴収票や控除証明書などの申告に必要な書類
・申告者本人のマイナンバーカード(※マイナンバーカードをお持ちでない人は、通知カード(又はマイナンバーの記載がある住民票等)と併せて、本人確認書類(運転免許証等)をお持ちください。)

【問い合わせ先】 不明な点は、春日市税務課市民税担当までお問い合わせください。
092-584-1111(代表)